

令和2年度第1回豊能町地域公共交通会議議事概要

日 時：令和2年8月5日（木）午前10時から午前11時40分まで

場 所：豊能町役場 2階 大会議室

出席者：委員14名、事務局5名

（詳細は別紙「令和2年度第1回豊能町地域公共交通会議出席者表」のとおり）

傍聴者：4名

1. 開会

午前10時に会長が開会し、過半数の委員出席による開催を確認した。

2. 委員及び出席者紹介

事務局より委員及び出席者の紹介があった。

3. 《協議》道路運送法に基づく市町村運営有償運送（福祉輸送）登録更新について

（1）以下の事項について事務局より説明があった。

- ①事業の概要・目的
- ②利用対象者
- ③運行車両
- ④運行内容・区域
- ⑤運行実績
- ⑥運行の必要性、利用者負担金の妥当性

（2）主な質疑、意見

〔委員〕運行管理体制について、整備管理の責任者はNPO法人ではないのか。

（事務局）整備管理の責任者の就任予定者は車両購入の経緯・実績から記載しており、変わる可能性もある。

〔委員〕運行範囲が豊能町内となっているが、箕面の市民病院等は対象外か。

（事務局）平成31年1月に事業を見直し、それまでは池田市・箕面市・川西市の医療機関を運行可としていたが、町内に限定した。

・市町村運営有償運送（福祉輸送）の必要性、対象者、対価、運送の範囲について全員異議なしにより合意した

4. 《協議》阪急バス豊能西線の運賃改定について

(1) 以下の事項について事務局より説明があった。

- ①運賃改定の理由
- ②改定内容
- ③改定予定日
- ④利用者への周知

(2) 以下の事項について阪急バス選出委員より説明があった。

- ①運賃改定の経緯
- ②改定内容

(3) 主な質疑、意見

[委員] 値上げには反対。

[委員] 収支改善が目的とのことだが、改定すると収支状況はどうなるか。

[委員] 年間 800 万円から 900 万円の増収が見込めるが、採算ラインには到達しない。

[委員] 増収となった場合、町の補助金はどうか。

(事務局) 赤字額が多く、1,000 万円が変わらない。

[委員] 地域公共交通を守るという観点で、事業者のみに負担をかけるのはどうかという議論が抜けている。事業者のみなく、行政・利用者も負担する必要がある。

[委員] 最悪のケースは路線維持できず撤退されること。これを回避するための町の補助や運賃改定のお願いであり、理解いただきたい。

・運賃改定について出席委員 14 名中 12 名賛成により合意した

5. 《報告》「豊能町地域公共交通基本構想」の進捗状況について

(1) 以下の事項について事務局より説明があった。

①短期計画について

→北大阪ネオポリス線の箕面トンネル経由便・ときわ台駅のバリアフリー工事を完了。

②中期計画について

→ときわ台駅前駐輪場の無料化・無人化を完了。ロータリーの整備工事を令和 2 年度に完了予定。

③長期計画について

→北大阪急行延伸の令和 5 年度へ向けて、阪急バス箕面森町線の能勢電鉄駅までの延伸について関係機関と協議している。

(2) 主な質疑、意見

[委員] 基本構想は 1 年間の変化はないのか。

(事務局) 構想は変更していない。次回は進捗状況がわかる資料を提出したい。

6. その他

[会 長] コロナ禍の影響は。

[委 員] 阪急バス路線は赤字だが、やめるというわけにはいかない。利用者は5月が半減で、6月・7月は6割から7割に回復したが、コロナ前の利用者が戻って来ず危惧している。公共交通を守るための補助を要望している。

[委 員] タクシーは営業圏を超えて運行ができないので、検討いただきたい。

[委 員] 京都タクシーときわ台営業所の収入は前年の40%から50%で推移しており、出勤を半分程度に調整している。利用者に不便をかけるが理解いただきたい。

7 閉会

(1) まちづくり調整監より閉会挨拶があった。

(2) 午前11時40分に閉会した。